

保護者 様

南丹市立胡麻郷小学校
校長 白 檉 勝 昭

地震発生時における学校の対応について（お知らせ）

初夏の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校の教育活動の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、全国各地で大きな地震が発生し、甚大な被害が出ています。今後、この地域で地震が発生した際、児童の安全確保を第一に考え、南丹市教育委員会とも連携して下記のような対応をとらせていただきます。

各家庭におかれましても、災害時の対応について、お子様と話し合ってくださいとともに、学校の対応にご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

記

■登校前に地震が発生した場合

- 「震度5弱」以上の地震が「南丹市日吉町」で発生した場合は、原則、「臨時休校」とします。
- 「震度4」の場合は、登校を見合わせ「自宅（または安全な場所）待機」とします。
- 自宅以外の場所に避難した場合は、避難場所を学校まで連絡してください。
- 「自宅待機」となった場合は、その後の連絡があるまで、自宅もしくは安全な場所で待機します。被害状況や通学路等の安全が確認できれば、授業を行います。
- 自宅待機後の連絡は、ご登録いただいております「tetoru」や学校ホームページ等を使って連絡します。なお、停電や通信障害等により学校からの連絡が送受信できないことも予想されます。連絡がない場合は、「臨時休校」とします。

■登下校中に地震が発生した場合

- 建物倒壊の危険など身に危険を感じるような地震の場合、一番近い安全だと思われる場所へ一時的に避難します。揺れが収まれば、「学校」もしくは「自宅」のいずれか、より近い、またはより安全と考えられる方に避難します。

■学校にいる時に地震が発生した場合

- 「震度5弱」以上かつ教育活動の継続が困難と判断される場合は、「tetoru」等を使って、できるだけ速やかに児童の迎えをお願いすることがあります。その際、迎えがあるまでは、最も安全な場所に避難させ待機します。
- 「震度4」以下の場合、児童の安全を第一に考え、被害の状況によって、「授業の継続」・「中止して下校」・「保護者への引き渡し」等の判断をします。下校の場合は、通学路の安全が確保されていることを確認した後に、「tetoru」にてお知らせし、下校します。

■その他

- 「児童の引き渡し」等、特別な対応を行っている間は、学校への電話が繋がりにくい状況が想定されますのでご了承ください。